

パネル発表の募集要項 大会参加費支払期限・申込締切：5月10日

1. 発表形式 対面形式で行います。

2. 使用言語 日本語以外の発表者（コメンテータを含む）を会員・非会員を問わず1名認めます。

日本語以外の登壇者がいる場合は、以下の規定を守ってください。

- ・発表に際して、必ず日本語のレジュメを用意してください。
- ・議論に際して通訳等を行える人がパネルのメンバーの中にいるようにしてください。

3. 申込資格

【代表者】 a 名誉会員

b 2024年4月30日時点で、2023年度の会費を納入済みの維持会員、普通会員

c 2024年4月の理事会で入会を承認された普通会員で、5月10日までに会費を納入された方

【代表者以外】 上記a~cの会員の他、以下のd及びeの方を含めて申し込むことが可能です。

d 非会員（1名に限る）

審査のため、「非会員をパネルに加える理由書」が必要です。「理由書」の書式は自由。

e 非会員であるが、これを機に普通会員として入会を希望する方（複数可）

「入会申込書」を、5月10日必着で、日本宗教学会に郵送してください。

入会申込書に、「パネル申込者」と書き添えてください。

普通会員の入会は理事会決定事項のため、最終決定は7月6日の理事会で行います。

4. 申込方法

(1) 代表者を含めた会員と、申込資格に記したeに該当する入会希望者

5月10日までに「発表申込フォーム」から、以下①と②の両方の手続きを行ってください

- ① クレジットカードによるオンライン決済で、大会参加費4,000円の支払いを済ませたうえで、
- ② 申込区分にあるURL（パネル発表）からお申し込みください。

（代表者が「パネル発表の申込書」に発表題目等を記すので、発表題目等の入力欄はありません）

dの非会員の申込は、以下（2）の「理由書」の提出をもって代えます。

(2) 代表者

上記①②とは別に、「パネル発表の募集要項」からダウンロードした「パネル発表の申込書」にご記入の上、5月10日までに送信してください。非会員を加える場合は「非会員をパネルに加える理由書」を一緒に送信してください。

・送信先：プログラム委員会（パネル発表） jars.secretariat@gmail.com

今年度より、送信先のメールアドレスを変更しています。お間違えのないようにお願いします。

・メールの件名：パネル発表申込 代表者の御名前 例：パネル発表申込 鈴木太郎

【注意】

5月10日までに、大会参加費のお支払いがなかった会員、入会希望者の発表申込は受理しません。

大会参加費未納の会員、入会希望者がいた場合は、次のように対応します。

・参加費未納者をパネルから外しても、パネルの申込要件を満たす場合

参加費未納者をパネルから外して審査を行います。その旨を代表者に通知し、パネル申込を取りやめるか、確認をとります。

・参加費未納者をパネルから外すと、パネルの申込要件を満たさない場合

不採用となります。

構成員の申込資格の有無（年会費を支払っているか）、大会参加費を支払っているか等を確認したい代表者は、できるだけ早めに、上記のプログラム委員会のメールアドレスにお問い合わせください。

5月10日を過ぎてからの発表申込や内容の変更には応じられません。発表日時の希望には応じられません。

同一人物が複数のパネルに参加することはできません。

パネル構成員は、パネルの採用／不採用に関係なく、個人発表はできません。

5. パネルの構成人数（代表者を含む）と持ち時間

- ・構成人数：代表者、コメンテータ、発表者のすべてを含めて、計4名、または、計5名。
- ・持ち時間：計4名の場合100分、計5名の場合120分。
- ・司会は、代表者、コメンテータ、発表者の内の1人が行う。
- ・コメンテータを入れる／入れないは、自由とする。

※パネルの持ち時間内に、フロアとの質疑応答の時間として「発表者数×5分」を必ずお取りください。

6. パネルの題目、発表題目 以下の規定にしたがって記入してください。

- ・30字以内。欧文以外は、全角で入力し、1字と数える。
- ・副題がある場合は、副題の前後に、全角のダッシュ（— ）を付ける。ダッシュを含めて30字以内。
- ・欧文のみ半角で入力し、2字を1字と数える（スペースを含む）。
- ・ギリシャ語、サンスクリット語等はローマ字化する。
- ・同一題目で、(1)、(2)、(再)、(続)といった継続番号を打つ題目は認めない。

※上記2の日本語以外の発表者が、英語で発表する場合は、「個人発表の募集要項」の「5. 発表題目」に記した英語による発表の規定をお守りください。

7. パソコン用プロジェクターの使用 使用する場合は、以下の「使用に関するご注意」をお読みください。

8. 審査結果の報告 理事会の審査を経て、7月上旬に代表者に通知します。

パネルが不採用になった場合には、参加のみの申込に変更するか、大会への参加を取りやめるかの確認をとったうえで、大会への参加を取りやめる場合は大会参加費を返金します。

9. 『宗教研究』（別冊）に掲載する発表要旨について

- ・「パネルの主旨とまとめ」（代表者）、「発表要旨」（発表者）、「コメント」（コメンテータ）のすべてを提出することを原則とします。
- ・日本語以外の発表者を含まないパネルは、全員、日本語で提出してください。
- ・日本語以外の発表者を含むパネルは、パネル単位で、日本語または英語で統一してください。日本語の発表者がいるパネルが英語で統一する場合、日本語の発表者の題目・氏名は日本語（要旨は英語）になります。

別冊用要旨の提出締切日、提出方法等は、7月に公開するプログラムに記します。

日本宗教学会 理事会

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意（対面発表部会）

会場となる教室にはプロジェクター類が設置されています。使用する方は、以下の注意を熟読してください。

発表会場に設置されているパソコンは、学内関係者以外は使用できません。プロジェクター類を使用する場合は、必ず、各自でパソコン等を持参してください。持参されない場合、プロジェクター類の使用はできませんので、ご注意ください。

発表会場で使用するプロジェクター類は、HDMI のみに対応しています（プロジェクター類からは下図のようなケーブルが出ていますので、持参したパソコン等に差し込んで使用してください）。これ以外の接続方式や端子（VGA、DVI、USB、Lightning など）には対応していません。また、会場には HDMI への変換アダプター等の用意もありません。変換アダプター等は必要に応じて各自ご持参ください。

なお、会場スタッフは接続等に関してサポートすることができません。あらかじめご了承ください。



第 83 回学術大会実行委員会